



東京都市大学 リカレントプログラム
建設業事業承継DXコース



継いだ会社を守ることで
地域を支えるチカラになる。

「継ぐ」から、「変える」へ。

建設業の次世代経営者のための 実践型DXプログラム

建設業はいま、大きな転換点に立たされています。高齢化、人材不足、低収益構造、デジタル化の遅れ——こうした課題を乗り越える鍵は「次の時代を担う経営者」の手にあります。本プログラムは、建設業界で事業を引き継ぐ方、すでに承継した経営者が、DXや組織変革の実践力を養いながら、地域社会を支え続けるリーダーへと成長するための"学びの場"です。



東京都市大学リカレントプログラムとは？

東京都市大学では、2024年から社会人向けにリカレントプログラムを開講し、DXリテラシーから実践スキルまでを体系的に学べる内容を提供しています。今回新たに始まる「建設業事業承継DXコース」は、そうしたリカレント教育の一環として、地域インフラを支える建設業の次世代経営者を育てることを目的としています。現場で培った経験をもとに、これからの時代に適用する経営スキルを身につける。そんな学びの場が本プログラムです。

講師一覧

経営・現場・学術を横断する実務家・専門家が集結。建設業の第一線で活躍するトップランナーたちが、次世代経営者の挑戦を全力でサポートします。



東京都市大学
学長

東京都市大学
特任教授

新日本工務所
取締役

協成建設
代表取締役

江口組
代表取締役

ジャスト
代表取締役

コプロス
専務取締役

カラフトバンク
代表取締役

クラフトバンク
監査

100年の歴史をもつ

建設分野に約1万人OB輩出



全国的なネットワーク

建設業に特化したビジネス知見

内装工事会社の事業承継
建設×IT

このプログラムで得られるもの

DX活用の
実務スキル

課題解決力

地域建設業経営者・
ゼネコン・大学教授
とのネットワーク

事業承継に際しての経営変革やデジタル活用について、
実務に使える知識を学びながら、
志を同じにする経営者や大手ゼネコンとのネットワークも
築くことができます

今、変化に強い経営が求められている

建設業は日本の社会インフラを支える重要産業

資材価格
高騰

人手不足

生産性の
低さ

事業承継
の壁

DX化の
遅れ

課題が山積する建設業
求められるのは、判断力と先見性

デジタルによって加速する変化の時代



激しく急速な変化が日常

AI・ドローン・クラウド・データ活用

建設業の課題も
技術と工夫で超えられる

DXを起点に
変化を活かす視点を持つ

カリキュラム

カリキュラム

講義×ケーススタディ×フィールドワーク

- | | |
|--------------|---------------------------------|
| 01.事業承継のリアル | 社員との対話、実態の把握、業務改革 |
| 02.DXの導入・推進 | BIM/CIM、ICT施工、バックオフィス改革 |
| 03.採用・人材育成 | 採用、定着、人事制度の設計 |
| 04.DX計画・新規事業 | 学習内容やネットワークを活用したDX計画
新規事業の立案 |

講義スケジュール・内容

2025年

10月3日

12:00~17:00

渋谷PXU

第1回

導入/事業承継の実例を知る

10月24日

13:00~17:20

渋谷PXU

第2回

建設DXの理論と実践

11月14日

12:00~17:00

11月15日

12:00~17:00

新庄砕石(山形県)

第3回

地域の先進企業に学ぶ (現地視察)

講義スケジュール・内容

12月4日

13:00~17:40

渋谷PXU

第4回

人手不足をDXで解決する

1月23日

13:00~17:20

渋谷:現地視察

第5回

現場のDX活用の実践例（東急建設）

2月13日

14:00~17:00

渋谷PXU

第6回

最終発表会 - 自社におけるDX計画

コーディネーター紹介



東京都市大学 総合研究所
特任教授

矢吹 信喜
Nobuyoshi Yabuki

1982年東京大学工学部土木工学科卒業、電源開発株式会社入社。1989年米国スタンフォード大学土木工学専攻にて修士（M.S.）、1992年博士（Ph.D.）取得。1999年室蘭工業大学工学部建設システム工学科助教授、准教授、2008年大阪大学大学院工学研究科環境エネルギー工学専攻教授。2025年より現職。大阪大学名誉教授。国土交通省BIM/CIM推進委員会委員長



クラフトバンク株式会社
代表取締役社長

韓 英志
Youngji Han

リクルートにて住宅情報事業を経て、東南アジア・欧州への参入を主導。ドイツのテック企業の買収・PMIを含む20カ国以上での事業展開を陣頭指揮。

2018年に内装工事会社を株式承継し、現場起点の経営DXを推進。2021年にクラフトバンク株式会社を創業し、地域建設業の事業承継・デジタル化支援に取り組む。東京大学大学院（建築学専攻）修了。

講師紹介

東京都市大学



学長
野城 智也

東京大学工学部建築学科卒業、同大学院修了。サステナブル建築、イノベーションのマネジメントに関する研究を展開。1991年から1998年まで武蔵工業大学助教授を務めた後、2001年に東京大学生産技術研究所教授に就任。過去に東京大学生産技術研究所所長、東京大学副学長を歴任する。現在は、東京都市大学 学長。

主な著書に『イノベーション・マネジメント：プロセス・組織の構造化から考える』他多数。

東京都市大学



総合研究所
特任教授
矢吹 信喜

1982年東京大学工学部土木工学科卒業、電源開発株式会社入社。1989年米国スタンフォード大学土木工学専攻にて修士（M.S.）、1992年博士（Ph.D.）取得。1999年室蘭工業大学工学部建設システム工学科助教授、准教授、2008年大阪大学大学院工学研究科環境エネルギー工学専攻教授。

2025年より現職。大阪大学名誉教授。国土交通省BIM/CIM推進委員会委員長

株式会社 江口組



代表取締役社長
江口 充

石川県の創業104年の土木会社を束ねる4代目社長。就任後1年かけて理念を改め、SNSやキャラクター、ブログを用いたブランド刷新を指揮。建設業の「3K（きつい、汚い、危険）」と呼ばれるイメージを払拭し、社員の1/3が女性の会社になる。採用を有利に進めるブランディングを得意とし、高い求人倍率の中でも安定採用を実現させた。

講師紹介

株式会社 新庄砕石工業所



取締役管理部長
柿崎 起

2012年に新3K「感動・感謝・貢献」を提唱し、国土交通大臣賞を受賞。以後、3現場連続で国交省関連表彰を受ける。現在は新卒採用に注力し、地方の土木業者ながら毎年国立大を含む大卒採用を実現。

YouTubeチャンネル「石男くんの建設チャンネル」で業界の課題や魅力を発信し続け総フォロワー数は4万人。座右の銘は「昨日よりも面白く」。

塩谷建設 株式会社



代表取締役社長
塩谷 洋平

1954年創業の総合建設業。リーマンショックで売上げが半分近くに減少。単に言われた構造物をつくるだけの会社では未来がないと、建設業を軸にらしくない事業も積極的に展開。本社をリノベーションし、使わなくなった施設を学童保育や障害児のデイサービス、高齢者施設などを誘致。新卒7年連続0名から『日本一安心して成長できる建設会社』を目標とし社内学校を展開。ここ5年で新卒80名以上が県内外から入社し平均年齢が36歳になり4割強が20代以下の建設会社に変化。

株式会社 コプロス



専務取締役
宮崎 隆司

芝浦工業大学卒、横浜国立大学大学院修了。浜銀総合研究所にて経営コンサルタント職を経て、地場建設業の経営に参画。本州最西端の地方企業ながら新卒採用で成果を上げ、DXセレクション準グランプリを受賞。実務と教育の両面から人材中心の建設業経営に取り組む。

講師紹介

株式会社 ジャスト



代表取締役社長
角田 賢明

慶應義塾大学工学部卒、
BOND大学MBA。
日本IBM、三菱UFJモルガン
スタンレー証券投資銀行本部
M&Aアドバイザリー部ヴァ
イスプレジデントを経て現職。
経済同友会会員。

著書

『老朽化対策の決定版
構造物耐久性調査読本』
(幻冬舎)

クラフトバンク株式会社



事業戦略室長
巻島 隆雄

東京大学法学部、INSEAD経
営大学院（MBA）修了。
日本政策投資銀行にて、法人
営業、東日本大震災からの復
興支援業務等を経た後、LBO
ファイナンスや事業会社との
共同投資等、M&Aファイナン
ス全般を主導。

中小企業の事業承継を目的と
したファンドとしてサーチ
ファンド・ジャパンを立上げ。
2024年クラフトバンクに参画。

経営・現場・学術を横断する多様な講師陣が在籍

建設会社の社長やDXに強い建設テック起業家に加え、M&Aや財務に精通したプロ、大学学長などが登壇します。

プログラム概要

募集人数	10名（予定）
対象者	地域建設業の次世代経営者・後継候補者
場所	TCU Shibuya PXU(東京都市大学 渋谷パクス)・現地視察
期間	2025年10月～2026年2月 全6回・7日間（半日5回、1泊2日の現地視察1回、全て対面）
内容	講義・グループワーク・ケーススタディ・懇親会
受講料	60万円（税別）*現地訪問の交通費・宿泊費は別途かかります